

白河市みらい創造総合戦略に関する評価シート

【KPI実績】

(重点施策 I 安定した雇用をつくる)

成果指標	項目		基準値 (年度)	目標値 (H31)	H27	H28	H29	H30	H31
	基本	1	管内正社員有効求人倍率	0.78倍 (H26)	1.00倍	0.69	0.63	0.79	0.91
	2	総事業所数 (累計)	1,572件 (H26)	1,572件	1,588	1,604	1,586	1,634	
	3	農業法人数 (累計)	17法人 (H26)	27法人	20	21	24	24	
(1)-①		製造品出荷額 (年間)	2,667億円 (H25)	3,000億円	2,844	3,002	2,878	3,152	
(1)-②		企業誘致による新規雇用者数 (累計)	153人 (H26)	460人	213	293	397	556	
(2)-①		管内新規高校卒業者県内就職率	24.4% (H26)	30.0%	25.7	24.4	23.7	25.2	
(2)-②		インターンシップ実施企業数 (年間)	0件 (H26)	23件	16	30	16	47	
(3)-①		企業間連携による新商品等開発件数 (累計)	0件 (H26)	3件	1	3	4	4	
(3)-②		各種創業支援事業による創業件数 (累計)	1件 (H26)	6件	5	11	11	19	
(4)-①		新規就農者数 (累計)	10人 (H26)	25人	14	20	24	27	
(4)-②		白河ブランド認証産品数 (累計)	16品 (H26)	39品	31	30	31	31	

【KPI達成状況及び事業について】

※KPI達成度合い A: 目標値を達成 B: 目標値の7割以上達成 C: 目標値の5割以上達成 D: 目標値の達成は5割未満

※事業の詳細は「資料1」及び「資料2」参照

事業番号	関連するKPI	達成度合い	評価	委員コメント
1	基本1	C (59%)	産業サポート白河が県南地域の企業訪問や企業と関係機関とのネットワークの形成支援等を行い、それにより企業の課題解決や製品開発から販売までのトータルサポートが実施されたため、中小企業の経営強化を図ることができ、各KPIの増加に大きく寄与したと考えられる。	・当行のお取引先の声から、産業サポート白河を通じて、白河市からは様々な支援を受けている旨聞いている。 ・創業後の継続状況のフォローが必要。有効求人倍率が伸びない原因の確認必要。
	基本2	A		
	(1)-①	A (146%)		
	(3)-②	A (360%)		
2	基本1	C (59%)	産業サポート白河がものづくり企業の経営課題に対し、きめ細やかな伴走型支援を行うことにより、地域の資源を活かしたものづくりの高度化や海外展開を促進し、しらかわ地域の企業の強化が図られ、KPIの増加に寄与したと考えられる。	・当行のお取引先の声から、産業サポート白河を通じて、白河市からは様々な支援を受けている旨聞いている。 ・高度化のチェックが必要ではないか。 ・製品のレベルチェックが必要。他にまねできない製品の特異性もチェック。特許件数についても考えてはどうか。
	(1)-①	A (146%)		
	(3)-①	A (133%)		
3			県内や隣県等の大学などを訪問し、市内企業の採用情報や交通費補助の周知を行った。合わせて、市内企業の採用情報誌を作成・配布を行うとともに、LINEによる情報発信を行い、市内企業の魅力発信に努めた。	・当行においても、交流会に出展した。 ・高校生のうちに地元企業を知ってもらい働きかけが必要。
4	(2)-②	A (204%)	しらかわの企業データベースを充実させるとともに、UIターン促進のため、インターンシップ受け入れ企業の拡大や学生と企業の交流促進に努めた。	・当行においても、交流会に出展した。 ・インターンシップ実施企業数について、年毎に数値の上下が激しいので、継続的に開催できるようにする。
5	基本2	A	創業希望者を支援するため、創業塾や女性のためのプチ起業セミナーを行い、创业者の増加を図った。	・実績が示すとおり、素晴らしい成果であると思う。 ・単なる足し算になっていないか。
	(3)-②	A (360%)		
6	(1)-①	A (146%)	地元金融機関と連携し、市のPR及び地元企業の販路拡大を図った。大手バイヤーとの個別商談等により、KPIの増加に寄与したと考えられる。	・当行としてもフードセレクション2018において連携して実施した。 ・今後も継続が見込める取引になるとよい。
7	基本2	A	市内での創業を促進するため、コワーキングスペースを提供するとともに、伴走型で支援する環境を整えた。次年度以降の创业者の増加に期待が出来ると考えている。	
	(3)-②	A (360%)		
8	基本3	B (70%)	新規就農者の定着を図るため、施設や機械等の導入経費を支援した。KPIの達成に大きく寄与していると考えられる。	・新規就農者が増えたことは、大きな成果であると思う。 ・増えているのは、支援があるからか、魅力があるからか、分析が必要。 ・新規就農者の意思や狙い、事業計画などからなぜ今農業を始めたのかを知り、次に生かされるとよい。
	(4)-①	A (113%)		
9	(4)-①	A (113%)	白河市産米の販路開拓等による安定需要の確保のため魅力を発信する事業を行った。農業の魅力向上にもつながり、一部KPIの増加に寄与していると考えられる。	・6次化商品やブランドの企画や新たな販路拡大にさらに力を入れてください。 ・新聞を使ったPRはどうか。
10	(4)-②	C (65%)	白河市産の農産物を主な原料とした新商品の開発に係る経費の支援を行った。単に白河ブランドの数を増やすだけでなく、ブランドの認知度を高めていくことも必要であると考えている。	・ブランド価値を高める広報 ・6次化商品やブランドの企画や新たな販路拡大にさらに力を入れてください。 ・今後ブランド農作物が増える見込みはあるか。

【KPI達成状況や事業の評価を含めた重点施策 I に対する委員意見】

評価等を踏まえた重点施策の見直しについて					
委員意見	<input type="checkbox"/>	現状維持	自由意見	<p>・素晴らしい成果が見られていると思いますので、これを継続していただきたい。</p> <p>・認知度を高める方針はうまくいっており、継続がよいと思う。ブランド価値を高めることが認証産品数を増やすことにつながる活動にもなると思う。</p> <p>・概ね目標を上回っている。表面の数字に左右されず、個々の事業所の実態をしっかりとらえているか要チェック</p>	<p>[自由意見]</p> <p>・様々な施策の成果が実っているように思われる。</p> <p>・特許を活かした唯一無二の製品作りができるようサポートするとよい。知財戦略を念頭に「勝つ企業」づくりを。</p>
	<input type="checkbox"/>	見直しを検討すべき	具体的内容		

白河市みらい創造総合戦略に関する評価シート

【KPI実績】

（重点施策Ⅱ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる）

成果指標	項目		基準値（年度）	目標値（H31）	H27	H28	H29	H30	H31	
	成果指標	基本	1 年間婚姻数	322件（H25）	322件	296	269	265	269	
2 合計特殊出生率			1.55（H20～24平均）	1.81	1.55	1.65	1.54	-		
3 年間出生数			485人（H26）	532人	475	485	437	435		
(1)-①		男女の出会い創出事業の参加者数（年間）	178人（H26）	240人	239	287	216	242		
(2)-①		つどいの広場等の利用者数（年間）	14,351人（H26）	15,786人	14,204	16,600	17,426	15,373		
(2)-②		保育園待機児童数（年度末）	20人（H26）	0人	16	18	109	66		
(3)-①		児童生徒一人当たりの1ヶ月の平均読書冊数	9.2冊（H26）	10冊	7.9	7.8	9.4	8.2		
(3)-②		学力実態調査の学力偏差値	小学校：国語、算数	52.2（H26）	56	52.2	53.5	52.3	51.3	
			中学校：国語、数学、英語	52.2（H26）	56	53.2	52.1	50.5	51.1	

※基本目標2の実績については、市独自推計による

【KPI達成状況及び事業について】

※KPI達成度合い A: 目標値を達成 B: 目標値の7割以上達成 C: 目標値の5割以上達成 D: 目標値の達成は5割未満

事業番号	関連するKPI	達成度合い	評価	委員コメント
1	基本1	D	出会い創出パーティを4回実施し、KPIの目標達成に寄与した。また、独身者を支援する方の育成を目的とした「世話やき人セミナー」を初めて開催したので、今後の結婚数の増加につなげていきたいと考えている。	・今は何をすることもネットなので、白河市内での交流の場をネットで作成するのはどうか。 ・対象（呼びかけ）の範囲と手段について、検討が必要。
	(1)-①	A (103%)		
2	基本2	D	関係機関や専門家等と連携し、妊娠から出産・子育てまで切れ目のない支援を行っており、育児負担や不安の軽減が図られていると考える。地道ではあるが市民に寄り添ったこの取組を続けていくことが、少子化対策の一助になると考える。	・産婦人科、小児科などと連携すると良いのではないか。
	基本3	D (-104%)		
3	(2)-①	B (71%)	乳幼児とその保護者が気軽に集え、子育てについて交流できる場として定着しており、KPIも概ね目標に近い数字が出ている。	・参加者の偏りに注意してほしい。同じ人ばかり参加していないかのチェックを。
4	基本2	D	あくまで少子化対策の一つであり、この施策だけでの指標の改善は望めないが、県の特定不妊治療費助成に加え市が上乗せで助成することにより経済的負担が軽減され、子どもがほしい夫婦の支援に繋がっていると考える。	・金額の上乗せはありか。
	基本3	D (-104%)		
5	基本1	D	通常保育に預けられない病気の児童を預けることができ、小さな子供を持つ世帯の負担軽減と就労の促進が期待できる。今後は、施設のPRと利用方法の周知を図っていく。	
	基本3	D (-104%)		
6	(2)-②	D (-230%)	保育園の待機児童の解消は急務であることから、既存の保育施設の増築や新たな保育施設の開設が必要であり、平成30年度時点でも待機児童数の解消に至っていないことから、引き続き受入施設の確保を図る。	・市内には、多数の従業員を抱える企業も多いことから、企業内保育園設置の働きかけや補助を考慮してはどうか。 ・大企業への企業内保育園などの設置へのアピール ・待機児童が増える原因も探ること。
7	(3)-①	D (-125%)	市立図書館と連携した学校司書を配置し、学校図書館環境を充実させることで、児童・生徒が学校図書館を計画的に利用し、主体的・意欲的に学習活動、読書活動ができる環境づくりを推進したが、KPIの達成には至っておらず、読書の機会を増やす必要がある。	・こども司書体験事業を展開してはどうか。 ・読書数が減っている原因を探ること。
8			小学6年生を対象に、白河の歴史・文化を学ぶ機会を設け、学習の成果を毎年、図書館ロビーに展示公開した。本市への誇りや愛着を醸成することで、子供達が将来、白河に戻ってきてくれるだけでなく、本市の魅力を発信してくれることにもつながることが期待できる。	・指標はないがよい活動。
9	(3)-②	D (-24%)	複式学級の解消や、ティームティーチングの実施のため、非常勤講師を配置し学力の向上を支援した。小学校は国語・算数で全国平均を上回り、中学校でも、国語で全国平均を上回ったが、KPIの達成には至っていないので、今後も学力向上に努める。	
		D (-29%)		

【KPI達成状況や事業の評価を含めた重点施策Ⅱに対する委員意見】

評価等を踏まえた重点施策の見直しについて					
委員意見	<input type="checkbox"/>	現状維持	自由意見	・達成度合いは厳しいものの、今後とも継続していただきたい。 ・特に待機児童の件は、出生率にも影響がありそうなので、対応を優先できるなら、した方が良いと思う。 ・目標達成には遠いが、継続が必要。	[自由意] ・人口減少の中、数値目標を達成するのは難しさがある。子育てについては、児童虐待などを防ぐ目標が重要。そして、マイナスがない現状があるとすれば、それ自体評価している。 ・利用する側として、出産後の母子に対する対応は手厚いと思うので、継続してください。 ・人口減少の中、数値目標の達成は難しいので、子育て環境のよさをアピールしていく。 ・いい施設は整っている。 ・出産、子育てに絞った戦略にしてはどうか。
	<input type="checkbox"/>	見直しを検討すべき	具体的内容	・話題づくりと文化の活用（出会いなど）	

白河市みらい創造総合戦略に関する評価シート

【KPI実績】

（重点施策Ⅲ 新しい人の流れをつくる）

成果指標	項目		基準値（年度）	目標値（H31）	H27	H28	H29	H30	H31
	基本	1	現住人口（9月1日現在）	62,419人（H26）	62,320人	61,955	61,223	60,723	60,284
	2	観光客入込数（主要観光施設）	658,000人（H26）	783,000人	866,092	890,983	841,006	885,260	
	3	地域ブランド調査魅力度全国ランキング	308位（H26）	250位以内	415	418	497	444	
(1)-①		地域ブランド調査観光意欲度全国ランキング	346位（H25）	320位以内	300	353	441	525	
(1)-②		外国人観光客数（年間）	150人（H26）	183人	285	551	1,165	1,479	
(2)-①		地域ブランド調査居住意欲度全国ランキング	737位（H26）	710位以内	547	830	876	962	
(2)-②		支援制度を利用した移住・定住者数（累計）	0人（H26）	270人	2	40	84	156	
(3)-①		ホームページの閲覧者数（年間）	1,889,000件（H26）	2,283,000件	2,106,885	4,172,563	4,603,584	5,578,580	
(3)-②		地域ブランド調査認知度全国ランキング	431位（H26）	400位以内	395	477	507	491	
(4)-①		地域おこし協力隊の受入件数（累計）	0件（H26）	10件	1	2	3	5	
(4)-②		コミュニティスペース利用者数（年間）	0人（H26）	4,600人	1,003	8,538	9,739	7,880	

【KPI達成状況及び事業について】

※KPI達成度合い A:目標値を達成 B:目標値の7割以上達成 C:目標値の5割以上達成 D:目標値の達成は5割未満

※事業の詳細は「資料1」及び「資料2」参照

事業番号	関連するKPI	達成度合い	評価	委員コメント
1	基本2	A (113%)	全国のゆるキャラが一同に会する、こども夢フェスタの開催により、白河市をPRするとともに、観光客の増加につながったと考えられる。	・すばらしい成果であると思う。白河のイメージを上げていると思う。 ・すくよいと思う。 ・企画の一部に手直しが必要。日帰りを宿泊にする工夫はどうか。
	(1)-①	D		
2	基本2	A (113%)	西郷村及び栃木県那須町と共同でサイクルツーリズムに取り組み、観光客の増加につなげた。また、国内向けのプロモーションを首都圏で行い誘客に向けたPR活動を行った。さらには、インバウンド観光推進にも取り組み、台湾の旅行会社等を訪問し、認知度の向上及びインバウンド誘客の獲得を図った。	・すばらしい成果であると思う。白河のイメージを上げていると思う。
	(1)-①	D		
3	基本2	A (113%)	台湾及びベトナムを対象としたプロモーション活動を展開し、白河市への誘客を図った。また、台湾のメディアや旅行会社の関係者を対象とした、モニターツアーを開催し、インバウンドの獲得を図った。	・すばらしい成果であると思う。白河のイメージを上げていると思う。 ・ネットの更なる利用を。
	(1)-②	A (4027%)		
4	基本2	A (113%)	H30年度は、旧白河集古苑の増築・改築を行い施設整備を実施した。（H31.4小峰城歴史館としてオープン）今後は、小峰城の石垣修復の記録や市の歴史・文化の情報発信拠点として、文化財を活用したホープツーリズムの推進を進め、観光客の増加や収益の向上に寄与する。	・歴史館のオープンは高く評価している。見所が多く、わかりやすい。 ・すばらしい成果であると思う。白河のイメージを上げていると思う。 ・冬場の利活用が課題か。 ・観光誘客は大切だが、市民の心のよりどころをしっかりと整備する意味もある。収支にこだわらず継続を。
	(1)-①	D		
5	基本2	A (113%)	二ノ丸茶屋については、施設強化を図ることにより、観光客の増加につなげることができたと考えている。南湖休憩施設については、賃借者による内装工事中のため、次年度における誘客に期待する。	・二ノ丸茶屋のメニュー開発を望む。 ・すばらしい成果であると思う。白河のイメージを上げていると思う。 ・二ノ丸茶屋のメニューの充実を。 ・二ノ丸茶屋のみやげ物売場のスペースの充実を。
	(1)-①	D		
6	基本1	D (5%)	空き家バンクの運営を通し、移住・定住者の増加に努めているが、空き家バンクとしては、市外からの移住・定住に繋がらなかった。空き家の利活用は、人口流出の防止にも繋がることから、今後も他の移住・定住促進事業とともに移住・定住を促進していく。	・全国の他の地区の成功事例など研究して欲しい。 ・移住・定住者を新聞などで取り上げていくのはどうか。
	(2)-①	D		
	(2)-②	C (58%)		
7	基本3	D	シティプロモーションの重要性と必要性について、市全体が共通認識を持てるようセミナーを実施した。また、地域イメージの向上や本市の魅力効果を効果的にPRしていくための考え方を示した、「シティプロモーション基本方針」を策定した。策定にあたっては、市民と市職員による合同ワークショップ、高校生によるワークショップを開催し、広く市民の意見を反映させてきたところである。今後、各KPIの達成のために活かして行く。	・新たな絵地図など、作成してはどうか。 ・市民全員参加型で今後も進めていただきたい。 ・いいものは揃っているのだから、求められるのは発信力か。 ・目先にとられない息の長い事業は必要だが、講演からワークショップという流れはマンネリかも。
	(1)-①	D		
	(2)-①	D		
8	(2)-②	C (58%)	地域おこし協力隊については、解決すべき地域課題を明確にし、適正を十分に確認しながら採用していく。また、各地域活動のサポートを行い、任期終了後、定住につなげられるよう事業を展開していく。	・おもしろい試みだと思う。 ・地域おこし協力隊の存在は大きい。取材でも助かっている。 ・行政として充分バックアップを。
	(4)-①	C (50%)		
9	(4)-②	A (171%)	高校生をはじめとする若者が集える場所としての認知度も上がり、利用者数は、目標を達成している。今後もコミュニティスペースを活用した各種イベント等を開催するとともに高校生の自主的な活動を支援していく。	・エマノン事業の強化をしてはどうか。 ・着実に市民活動の場になっていると思う。 ・是非継続して欲しい。

【KPI達成状況や事業の評価を含めた重点施策Ⅲに対する委員意見】

評価等を踏まえた重点施策の見直しについて				
委員意見	<input type="checkbox"/>	現状維持	自由意見	<p>様々な施策が成果を収めているが、空き家対策などは、全国の事例を参考に研究して欲しい。</p> <p>・最近のゆるキャラブームは異常なので、その知名度を上げるようなイベントの参加や取組みをもって、地域のブランドをあげるのはいかがでしょうか。</p> <p>・地道な努力を重ねて、軌道に乗せてほしい。</p> <p>【自由意見】</p> <p>評価すべき事業も多いが、地域資源の再発見のためのフィールドワーク、まちあるきツアーなど（例えば小松寅吉の石彫）など、知られていない街の宝は多い。</p> <p>・白河の人たちが外部からの刺激を受けることで、ものの考え方や行動へのスピードが変わるのではないかと。「ヨソモノ」を上手く使うことが求められる。</p>
	<input type="checkbox"/>	見直しを検討すべき	具体的内容	